

ピーナッツ山にのぼる

乾 栄里子

と、赤ちゃんが泣き出しました。
「えへん、えへん」
やさしくゆらしても泣きやみません。

「うえーん、うえーん」
泣かないで、ぴろぴろくばあ」

おもしろい顔をしても泣きやみません。ピーナッツは
こまつてしまいました。

「わつ、赤ちゃんだ」

ピーナッツはびつ

くりしてあちこち見
ましたがだれもいません。

せん。

「ママー」

「ママじやないよ。

ピーナッツだよ。

どうしよう？ 山の

ほうからきたから

行つてみようか

ピーナッツは赤ちゃんをだっこして山にのぼつてみま

したが、だれもいません。

「しようがない。もうちょっとのぼつてみよう。よいしょ、

よいしょ」

ずいぶんのぼりましたが、やつぱりだれもいません。

そのうえ山には雪がつもっています。ピーナッツが雪の中をふうふういいながらいっしょうけんめい歩いている

♪ パーのナツツはパーなツツ
♪ ピーのナツツはピーナツツ、へいっ！

すると、赤ちゃんがびたつと泣きやみました。

「あれ、ぼくの歌すき？」

ピーナツツはうれしくなつて何度も歌いました。ピーナツツが「へいっ！」というたびに赤ちゃんが笑います。

歌いながらがんばつてのぼつていくと、とうとう雪だるまの国につきました。赤ちゃんを探していたパパとママはとつてもとつても喜んで、特製アイスクリームを

ちそうしてくれました。ピーナツツが「あまくておいしいなあ、でも寒いなあ」と思いながら食べていると、か

き氷、雪まんじゅう、冷やしホテト、冷やしカレー、冷やしたこ焼きと、どんどん冷たい料理が出てきます。

「ありがとうございます。でもぼく、寒くてもうダメです。帰ります」

ピーナツツがそういつて外へ出ると、風がビューッと吹きました。ピーナツツがぶるぶるふると、豆が

チヤツポコ、チヤツポコ。ビューブるぶるチヤツポコチヤツポコ。すると、赤ちゃんがかわいい声で歌いました。

♪ パンパン、パンツ

♪ ピンピン、ピーナツ、へいへいへい！

「ぼくの歌だ。うれしいなあ。また会いにくるね」



「ピーナツツさん、ほんとうにどうもありがとう」
「お送りしますよ。さあ、のつて」
大きな雪だるまパパは頭の上にひよいつとピーナツツをのせると、高い高い山の上からスキーでしゅうううううつとすべりおりて、あつという間に山のふもとまでつれてきました。

家に帰つたピーナツツは、あつたかいお風呂にゆつくり入つて、ぐつり眠りました。

(おしまい)



「えへへ、おもしろいぞ」
ピーナツツは音にあわせて歌いました。

チャツボコ。ビューブるぶるチャツボコチャツボコ。
「ピーナツツさん、ほんとうにどうもありがとう」
「お送りしますよ。さあ、のつて」
大きな雪だるまパパは頭の上にひよいつとピーナツツをのせると、高い高い山の上からスキーでしゅうううううつとすべりおりて、あつという間に山のふもとまでつれてきました。

家に帰つたピーナツツは、あつたかいお風呂にゆつくり入つて、ぐつり眠りました。

(おしまい)